

# 復習シート 第三学年 国語



組
番号
名前

【品詞の分類・活用形・文節に関する問題】

1 次の各問いに答えなさい。 **レベル8～10**

(1) 次の  の文の  線部と〈活用の種類〉と〈活用形〉が同じ動詞を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

明日、公園に行きます。

- ア 質問に答えない。
- イ 図書館の中は静かでした。
- ウ 遠くから友達が来る。
- エ 先生に理由を話した。

(2) 次の文を文節に区切ると、いくつの文節になりますか。あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。 **レベル11・12**

中庭の花だんにきれいなバラの花がたくさん咲いている。

- ア 五
- イ 六
- ウ 七
- エ 八

【同音異義語の中から文脈に合うものを選択する問題】

2 次の文の  線部のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを ( ) の中からそれぞれ一つ選び、記号に○を付けなさい。 **レベル8～10**

- (1) 会場をイドウする。 (ア 異動 イ 移動 ウ 異同)
- (2) 朝食をとるシュウカンをつける。 (ア 週刊 イ 週間 ウ 習慣)

【古文の内容を読み取り、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題】

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。 **レベル8～10**

仁和寺にある法師、年寄るまで、石清水を拝まざりければ、心うく覚えて、あるとき<sup>①</sup>思ひ立ちて、ただ一人、かちより詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。

さて、<sup>②</sup>かたへの人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにもすぎて、尊くこそ<sup>③</sup>おはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、なにごとかありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。  
少しのことにも、先達は<sup>④</sup>あらまほしきことなり。(兼好法師『徒然草』第五十二段)

(1)  線部①「思ひ立ちて」②「かたへ」③「おはしけれ」を現代仮名遣いに直し、  
全てひらがなで書きなさい。

①

②

③

(2)  線部④「あらまほしき」の意味を次から一つ選び、記号に丸を付けなさい。  
ア ありがたい イ あってほしい ウ わかってほしい エ あたらしい

